



Flash News

三重大学

第83号

目次

- 「カーボンフリー大学構想」説明会を開催
- 勢水丸「教育関係共同利用拠点」に認定
- 救命救急センターを開設
- 御手洗理事長、寺脇教授が学長と懇談
- 「第1回朝日大学との連携協議会」を開催

- タイ・コンケン大学と調印式
- 2010年度国際教育フォーラム「21世紀の人材育成」
- 平成22年度生物資源学部渡邊文二奨学生が決定
- 青山小学校キャンパス内見学
- 町屋海岸清掃活動

お知らせ & ご報告

- ・研究支援チームから
- ・医学部から
- ・附属図書館から
- ・国際交流センターから

「カーボンフリー大学構想」説明会を開催



内田淳正学長

「世界一の環境先進大学」を目指す本学は、地球温暖化対策として政府の目標（CO₂排出量を2020年までに1990年比25%削減）を上回る30.7%削減を策定し、6月15日に内田淳正学長、株式会社環境経営戦略総研の村井哲之取締役社長や関係者による標記説明会を開催しました。内外の専門家からなる省エネルギー計画検討委員会でまとめた「三重大学モデル」には、学内はもとより、在学生や卒業生、附属機関、地域コミュニティの住民との連携による仕組みが盛り込まれています。この地球温暖化防止に向けた野心的な取り組みを全国に向けて発信していきます。

勢水丸「教育関係共同利用拠点」に認定

6月10日、文部科学省が公募した標記拠点に、生物資源学研究科附属練習船「勢水丸」が「黒潮流域圏における生物資源と環境・食文化教育のための共同利用拠点」として認定されました。認定有効期間は平成22年6月10日から平成27年3月31日です。沿岸域を含む伊勢湾、熊野灘を中心とした黒潮流域における洋上教育拠点としての活動が期待されています。また、社団法人日本船舶海洋工学会が授与するシップ・オブ・ザ・イヤーの漁船・特殊船舶部門賞に選ばれ、7月20日に海運クラブ（東京都）において、授賞式が執り行われます。



救命救急センターを開設



6月1日、附属病院は三重県から県内4番目の救命救急センターの指定を受け、稼動しました。病床数は救命救急病床（ICU相当）8床、一般病床12床の合計20床です。中勢地域における高度救急医療の要として、津市や周辺の二次救急病院との連携強化を図るとともに、県内救命救急センター相互間での輪番体制の構築など、三次救急医療体制の充実を目指します。

御手洗理事長、寺脇教授が学長と懇談

6月11日、御手洗康放送大学学園理事長（写真右奥）、寺脇研京都造形芸術大学芸術学部教授（写真左奥）を本学に招き、内田淳正学長らとの懇談を行いました。懇談では、人材育成や産学連携などの地域圏大学としての役割について、忌憚のない意見交換が活発に交わされました。その後、野呂昭彦三重県知事を交え、地域の再生をテーマに4者対談があり、6月29日の三重テレビ放送報道特別番組「元気再生！『地域』と『ひと』」として、放映されました。



「第1回朝日大学との連携協議会」を開催



6月22日、総合研究棟Ⅱにおいて、朝日大学（岐阜）と標記協議会を開催しました。「地域社会への貢献に関する共同事業」、「医科（三重大学）と歯科（朝日大学）との共同研究事業」等について意見交換が行われ、有意義な協議会となりました。今後は、これらの連携事業の詳細について担当理事等の間で検討していく予定です。また、協議会終了後、メディアホールにおいて、大友克之朝日大学長による講演会「朝日大学の現況～私立大学の経営～」が行われました。参加した約70名の本学職員は、講演後の活発な質疑応答で積極的に意見を述べていました。

タイ・コンケン大学と調印式

5月21日、学長室において、タイ・コンケン大学との大学間協定の更新の調印式を行いました。調印式には、内田淳正学長、松岡守理事、宇治幸隆医学系研究科副科長、ガバザ エステバン医学系研究科教授、安藤勝彦医学部特任教授が、コンケン大学からは、スモン サコンチャイ学長（写真左側）、キティチャイ トライラタナシリチャイ研究・技術移転担当副学長、ウィナイ ジャイカン広報担当副学長、アピラット シリタティワット研究担当学長補佐らが出席しました。調印式後は、医学部を中心としたこれまでの交流に加えて、他学部も含めた幅広い交流の推進について話し合われました。



2010年度国際教育フォーラム「21世紀の人材育成」

5月29日、講堂で、国際教育フォーラム実行委員会（世界新教育学会・三重大学高等教育創造開発センター・三重キャリア研究会）主催の標記国際教育フォーラムが開催されました。フォーラムでは、WEF本部のディビッド・ターナー理事からイギリスの人材育成について記念講演が行われ、その後、日本や三重県内の事例を基に基調講演、シンポジウム、ポスターセッション、相談コーナー、交流会等が行われました。北海道から九州にわたる全国からの参加者と、本学の授業の一環として参加したキャリア教育の受講生は合わせて約500名となり、有意義な一日を過ごしました。

平成22年度生物資源学部渡邊文二奨学生が決定

6月10日、四日市市塩浜の三昌物産株式会社で、標記奨学金の授与式が行われました。この奨学金は、三昌物産株式会社の創業者、渡邊文二氏の篤志により、2004年から始まった生物資源学部・研究科独自の奨学金制度です。当日は、内田淳正学長をはじめ、田中晶善生物資源学研究科長ほか関係者の立ち会いのもと、三昌物産株式会社の渡邊正夫社長から学生4名（学部学生3名、院生1名）に採用通知書が手渡されました。



青山小学校キャンパス内見学



6月18日、伊賀市立青山小学校6年生93名が、本学のキャンパスを見学しました。子供たちが早い時期から大学を知ること、より具体的に将来の目標を持てるよう計画されました。大学到着後、第一生協で昼食をとり、附属図書館を見学した児童は、図書館の規模、年間の図書購入費に驚いていました。あいにくの雨模様で、予定していた見学が出来ませんでした。大学生へアンケートを行うなど、大学の雰囲気を楽しんでいました。

町屋海岸清掃活動

5月16日、環境ISO学生委員会と町屋百人衆による標記活動が行われました。この活動は平成18年度から年6回ほど行っており、今回で20回目になります。当日は、内田淳正学長はじめ、教職員、学生、付近住民合わせて総勢336人が参加しました。見違えるほど綺麗になり、文字通り素足で走れる町屋海岸になりました。次回の清掃は、7月3日に行う予定です。



お知らせ & ご報告

研究支援チームから《平成22年度第1回科学研究費補助金説明会》（共催：日本学術振興会）

- 講演者：日本学術振興会 ○開催日：7月29日(木) 午後 ○開催場所：講堂（小ホール）
- 参加者：教職員、学生、一般 詳細は決定次第HPに掲載しますので、ぜひご出席願います。

医学部から 6月2日、講堂で解剖体感謝式が行われました。献体された方やそのご遺族に感謝の気持ちを捧げました。

附属図書館から 6月2日～30日、附属図書館玄関ホールで環境ISO学生委員会のパネル展が行われました。

国際交流センターから《学長表敬訪問等》

○世宗大学校（韓国）・・・大学間協定締結

- 1. 日 時：平成22年4月6日（火）14：00～15：00
- 2. 訪問者：オム・ジョンフォア対外協力処長
- 3. 同席者：松岡理事、江原学長補佐、朴人文学部教授

○ウエイン州立大学医学部（アメリカ）・・・医学部・医学系研究科、学部間協定

- 1. 日 時：平成22年4月7日（水）10：00～10：30
- 2. 訪問者：医学部学生4名
- 3. 同席者：駒田医学系研究科教授、堀医学系研究科教授

○国際交流センター 前期 開講式

- 1. 日 時：平成22年4月13日（火）12：15～
- 2. 場 所：国際交流センター会議室
- 3. 参加者：初級集中（日本語研修）等コース生6名、教職員11名

